

ホームステイと現地の学校

藍住中学校 安藝 華子

オーストラリアでの9日間、観光やホテルもちろんおもしろかったですが、ホストファミリーと囲む食卓、バディの子達と過ごす休み時間が何より楽しかったです。

ホストマザーはとても明るくフレンドリーで、私は積極的に洗濯のことや犬アレルギーのことなどを相談したり、お手伝いをしたりすることができました。ホストファミリーはジョークを言って笑わせてくれて、きれいな湖に釣りに連れて行ってくれました。年下の子ども達はシャイでかわいくて、みんなでつるを折ったりテレビを見たりして笑い合いました。私は旅行中日本食が恋しくなったらどうしようと思っていましたが、ホストファミリーはみそ汁やカレーを手作りするほど日本が大好きで、みんなで作ったギョウザもとてもおいしかったです。旅行中一番おいしかったのはホストマザーの手料理でした。お土産に持って行った外国人用の徳島のパンフレットを見せるととても喜んでくれ、次日本に来た時は絶対徳島に行くよと言ってくれました。私が行きたいと言うと、スーパーには5回も連れて行ってくれました。他にも動物園、ビーチ、レストラン、ハイキングなど、いろんな所を観光させてくれ、ここまで歓迎してもらえていなかった私にとって、最高のホームステイでした。お別れの日、次オーストラリアに来た時もぜひここにホームステイしてねと言われてもらった時はとてもうれしかったです。ホームシック知らずの7日間でした。

私達が5日間通った学校は日本とは違うオープンで自由な雰囲気がそこにあり、幼稚園くらいから高校生くらいの子が通っていました。そこでお世話になったダニエル先生の授業は楽しく、授業中先生が生徒にお菓子をふるまってくれるのがすごく新鮮でした。学校の教師をしているホストマザーもスーパーで生徒に配る用のクッキーを買っていて、海外の自由さを実感しました。そして何より、海外での短い学校生活を楽しめたのはバディの子達のおかげです。高校生くらいの年齢で、ブレイクタイムや昼休みの度に教室に迎えに来てくれ、一緒にお菓子やお昼ご飯を食べました。



たまに聞きとれない英語もありましたが、脳を常にフル回転させて話す私の拙い英語をちゃんと聞きとってリアクションしてくれるのが何よりうれしかったです。ホストマザーが用意してくれるお弁当は、日本みたいに何種類ものおかずを詰める凝ったものでなく、サンドイッチかパンにフルーツとお菓子といった簡単なもので、海外らしくておいしかったです。休み時間にバディの子達に売店のようなものに連れて行ってもらい、ミートパイやケーキに挑戦したりもしました。みんなでバレーをしたり一緒に授業を受けてみたり、最終日はお別れパーティーを開いてもらったりと、大満足の学校生活でしたが、やはりバディの子達とお別れはさびしかったです。このままこの学校に通い続けたい！とも思いました。それほどまでに本当に楽しかったです。

今回のオーストラリア研修で、中学2年生の英語力でも意外と伝わって、ホストファミリーともバディの子とも仲良くなれたのがうれしかったです。今回の経験は海外にふみ出す大きな一歩となりました。

